

# 予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医療整備対策費

## 事業名 災害医療研修訓練費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療整備課 医療整備係 電話番号：058-272-1111(内3238)

E-mail : c11229@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 740 千円 (前年度予算額： 800 千円)

### <財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 源
前年度	800	0	0	0	0	0	0	0	800
要求額	740	0	0	0	0	0	0	0	740
決定額									

### 2 要求内容

#### (1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・いつ発生するか分からない大規模災害に備え、DMAT等の災害医療関係機関の体制を維持、強化する必要がある。
- ・県内の災害医療関係機関の体制強化及び情報共有を図る場として定期的に研修会、訓練、連絡会議等を開催するとともに、他機関で開催する研修に対しても県内の災害医療関係者（統括DMAT、災害医療コーディネーター等）を出席させ、災害医療体制の強化を図る。

#### (2) 事業内容

- ・災害医療関係者を対象とした研修会、訓練、連絡会議等を開催。
- ・他機関で開催する研修に対しても県内の災害医療関係者（統括DMAT、災害医療コーディネーター等）が出席。

### (3) 県負担・補助率の考え方

岐阜DMA T等の災害医療関係機関の体制を維持、強化するものであり、県負担は妥当。

### (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	646	研修会、訓練、連絡会議等の旅費
需用費	15	研修会、訓練、連絡会議等の消耗品
役務費	14	研修会、訓練、連絡会議等の役務費
その他	65	研修会、訓練、連絡会議等の報償費、会場借上料等
合計	740	

### 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 後年度の財政負担

岐阜DMA T等の災害医療関係機関の体制の維持、強化のため、研修会や訓練、連絡会議等は、今後とも必要であり、本事業は継続的に実施。

# 事 業 評 價 調 書 (県単独補助金除く)

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### (事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

大規模災害時に県内の災害医療関係機関（災害拠点病院、医師会、市町村、保健所等）が迅速に対応できるような体制を構築する。

### (目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R )	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①災害医療訓練、研修会の実施及び他機関開催の研修会等への出席回数	0 (H24)	3	3	3	3	100%

### ○指標を設定することができない場合の理由

[Large empty box for writing]

### (これまでの取組内容と成果)

令和 4 年 度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国主催の災害急性期対応研修への参加</li> <li>・中部ブロックDMA T連絡協議会への参加</li> <li>・都道府県向けの災害医療コーディネーター研修への参加</li> </ul>
	指標① 目標：3 実績：3 達成率：100%
令和 5 年 度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国主催の災害急性期対応研修への参加</li> <li>・中部ブロックDMA T連絡協議会への参加</li> <li>・都道府県向けの災害医療コーディネーター研修への参加</li> </ul>
	指標① 目標：3 実績：3 達成率：100%
令和 6 年 度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国主催の災害急性期対応研修への参加</li> <li>・中部ブロックDMA T連絡協議会への参加</li> <li>・都道府県向けの災害医療コーディネーター研修への参加</li> </ul>
	指標① 目標：3 実績：3 達成率：100%

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

#### ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	岐阜県の災害医療体制を強化するために平成24年度から平成25年度にかけて広域医療搬送拠点や災害拠点病院の設備整備等のハード整備を行うとともに、平成24年度に災害医療コーディネート体制の構築を図ったところ。今後、これらを効果的に運用するためには訓練実施や研修等への参加により関係者の災害医療の知識を向上する必要があり、当該事業の必要性は高いと思われる。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	(評価) 2
SCU運営訓練等の岐阜DMATに対する訓練や研修等への参加は、災害医療関係者の知識や技能の維持向上のために有意義なものである。	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	(評価) 2
平成24年度から平成25年度にかけて広域医療搬送拠点や災害拠点病院の設備整備を行い、これらをいつ災害が起こっても運用できるようにしておいための訓練の実施や、研修等への参加を平成25年度から継続的に実施するものであり、事業の効率性は図られている。	

### (今後の課題)

#### ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

今後は、災害拠点病院、DMAT、災害医療コーディネーター等を含めた継続的な災害医療訓練の実施を行っていく必要がある。

### (次年度の方向性)

#### ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

いつ発生するか分からず大規模災害に対応できるようにするために、継続した訓練や研修が必要であるため、次年度以降も当該事業により災害医療訓練の実施や研修等への参加を行う。

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	